



ひょうご農地・水ニュース



監修：兵庫県農地整備課 発行：水土里ネット兵庫 078-341-0500



県庁より《創刊に寄せて》

平成19年度から、農業生産にとって最も基礎的な資源である農地・農業用水等や農村環境を守り質を高める地域共同の取り組みと、環境保全に向けた先進的な営農活動を支援するため、「農地・水・環境保全向上対策」が導入され、各地域で様々な取り組みが始まっています。農地や水路などの資源を、将来にわたって良好な状態で保全し、皆様の集落が今後とも元気で



兵庫県の取り組みの概況（シェア全国第1位）

共同活動の取り組みは、2,108集落（1,740地区）46,203haとなり、農業振興地域内の農用地区域（農振農用地）における取り組みシェアは67%で、全国第1位となっています。

また、減農薬など環境負荷を軽減する営農活動の取り組みは、100地区、852haとなっています。

本県の取り組み状況(H19) H19年8月31日現在

項目	取り組み数	取り組み面積
共同活動	2,108集落	46,203ha
営農活動	100地区	852ha

保全する施設の規模(H19)

農道	水路	ため池
8,139km	14,685km	7,466カ所



取り組みの事例（活動組織の紹介）

◆事例1 天満大池協議会（稲美町）－ため池の水質改善をめざして－



本対策着手イベント

県内最古と言われる天満大池を抱える当地区で全農地を対象として、農地や水路などの保全活動を実施するとともに、絶滅危惧種である水生植物「アサザ」を保護するため、ため池の水質浄化、生態系の保全をテーマとした取り組みを始めました。水質改善に効果があるとされる土着菌を混ぜ

た土着菌団子」を地元の小学校児童らが約千個作成し、水質浄化を願いながらため池に投げ入れ、稲美町長より「農地・水・環境保全向上活動」着手宣言がなされました。

また、県立農業高校の生徒が継続的に水質調査や水質浄化を兼ねた水耕栽培を行うなど、ため池等地域資源を舞台とした活動が「農業生産グループ」の営農を支えています。



土着菌団子の作成



土着菌団子の投入

◆事例2 三江東部保全の会（豊岡市）－コウノトリ翔る郷づくり－



コウノトリ

当地区では農家や地域住民などが総力をあげて「コウノトリと共生する地域づくり」に取り組んでいます。

その一環として本対策を活用し、コウノトリのエサとなる生き物を育む田んぼの自然環境の再生と創造にチャレンジしています。

具体的には、①田んぼ、水路等の保全活動をしっかりと行う、②冬期の田に水を張る、③アイガモ農法など無農薬で水稻栽培する、④水田魚道の設置によりエサを確保できる環境をつくるなどの取り組みを行っています。

生き物が豊かになった田んぼで、地元小学校や消費者団体が生きもの調査を行うなど新たな交流活動も芽生えました。農地・水・環境保全向上対



水路の泥上げ



水路の生き物調査



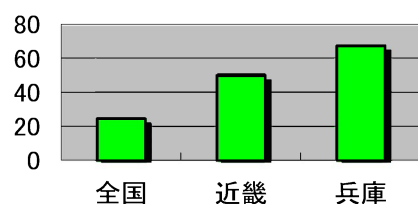
データで見る兵庫県の取り組み状況

全国と兵庫の実施状況

H19.8.31現在

項目	全国	近畿	兵庫
A/B：取組率（%）	25	50	67
A：Bの内取組面積（ha）	1,080,721	95,422	43,861
B：全農振農用地（ha）	4,381,045	190,174	65,057
活動区域面積（ha）	1,157,906	100,183	46,203

全農振農用地に占める割合



各協議会ごとの地区数・集落数・活動区域面積

協議会	神戸	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	合計
地区数	89	81	87	422	139	295	327	148	152	1,740
(内営農)	(29)	(5)	(3)	(26)	(1)	(1)	(21)	(10)	(4)	(100)
集落数	105	85	108	424	142	309	349	396	190	2,108
活動区域面積（ha）	2,803	1,746	2,935	12,337	2,781	5,285	5,696	7,731	4,889	46,203



事務手続の進捗状況と今後のスケジュールについてご案内

活動組織（1,740）の立上げから交付金の交付まで（10月末現在）

- 規約の決定……………1,740
- 活動計画の概定……………1,740
- 協定の締結……………1,740
- 採択申請の提出……………1,740
- 交付金申請の提出……………1,740

右に示しているのは

- 1 1月～～取り組みについてのアンケート調査
- 1 1月頃・協議会長宛に交付申請書（第2回）の提出
- 1 2月頃・協議会より交付金（第2回）の振込み
- 3 3月末……実施状況報告（下記の書類が必要）
 - 市町への共同活動の実施状況報告
 - 共同活動支援交付金に係る実施状況報告書
 - ①基礎支援対象活動実施状況報告書
 - ②作業写真整理帳
 - 地域協議会への共同活動の実施状況報告
 - 共同活動支援交付金に係る実施状況報告書
 - ①収支実績報告書

・年度末（3月）は、あっと言う間に來ます。マメに、早めに書類の整理をすすめて下さい。
 ・また、市町による確認（検査）の際には、「作業日報」「金銭出納簿」「領収書」その他の提出を求め



活動組織の事務処理について



3月末の実施状況報告にむけて、日報・写真・金銭出納簿等々の書類整理に鋭意努力されていることと存じます。
 これらの事務処理にあたっては、必ず関係者多数が集まって行うようにされることをお願いします。
 また、複数の自治会や農会が集まった組織では、事務処理をそれぞれに分担して行われることも考えられますが、最終的にはひとつの組織としての『とりまとめ』を行って下さい。
 何もなくても、毎月1～2回は集まって話し合い相談協力しながら、代表以下、全員参加で取り組んでください。
 この活動を5年間継続していくためには、保ち続けてきた地域の助け合いの精神で、みんなで協力してやっていくことが大切です。



農地・水・環境保全向上対策の関連ホームページ



制度の解説や全国の活動組織の情報など、いろいろな情報が掲載されています。

- 農林水産省【代表電話 03-3502-8111】 http://www.maff.go.jp/nouti_mizu/index.html
- 全国水土里ネット(全国土地改良事業団体連合会)【電話 03-3234-5480】 ... <http://www.inakajin.or.jp/midorihozen/>
- 社団法人 農村環境整備センター【電話 03-5645-3671】 <http://www.acres.or.jp/>